



全国の下水処理場の運営に携わる自治体職員に聞いた！

【豪雨時代の下水処理場運営、備えは十分？】

約9割が負荷増大を実感するも、  
7割超が運用ルールは「属人的・未整備」

激甚化する局地的大雨下における下水処理場の運用実態調査

---

# Research Outline

## 調査概要

### 調査機関

セイスイ工業株式会社

### 調査名称

激甚化する局地的大雨下における下水処理場の運用実態調査

### 調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

### 調査期間

2026年6月15日～同年6月17日

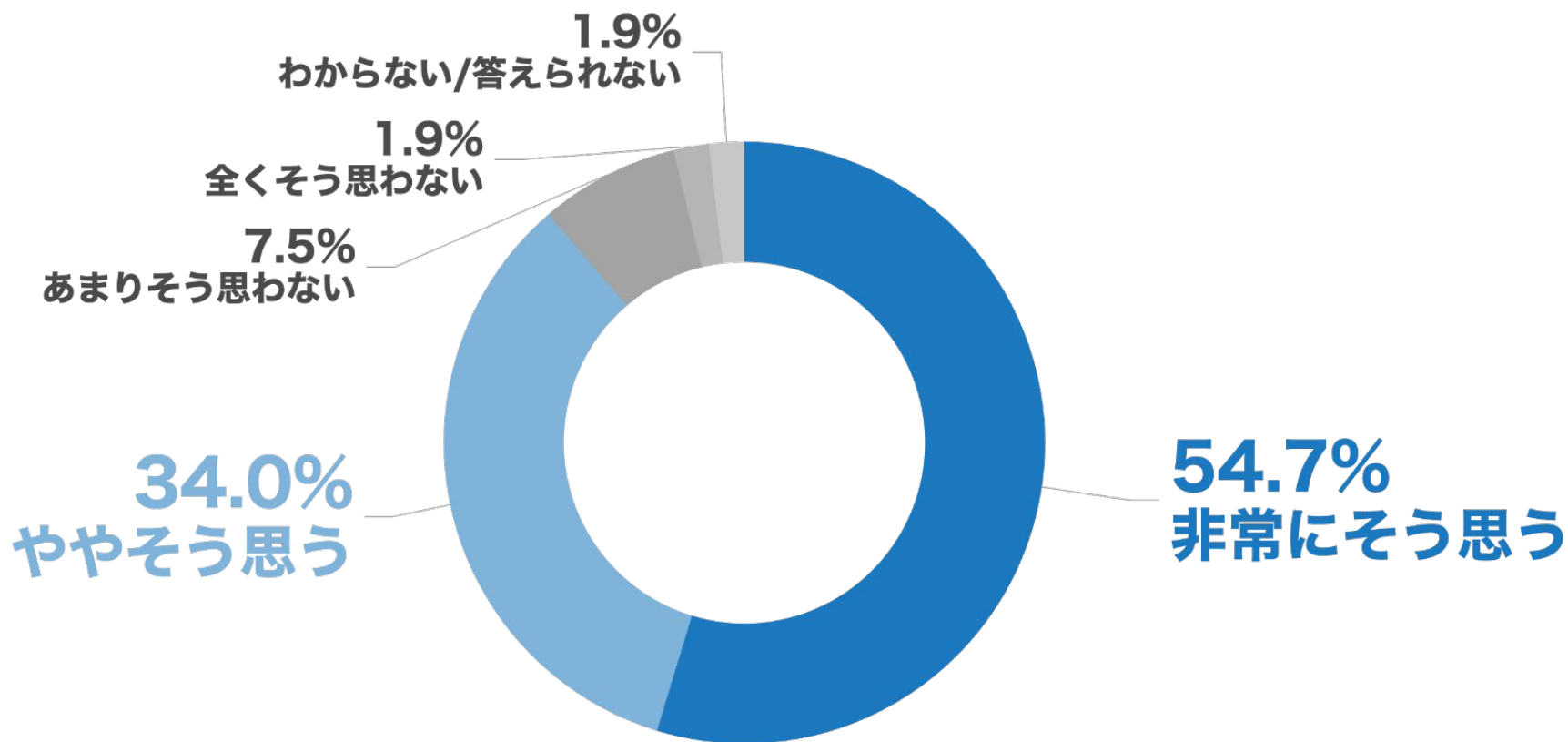
### 有効回答

全国の下水処理場の運営に携わる方 106名（自治体職員）

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

# Q1

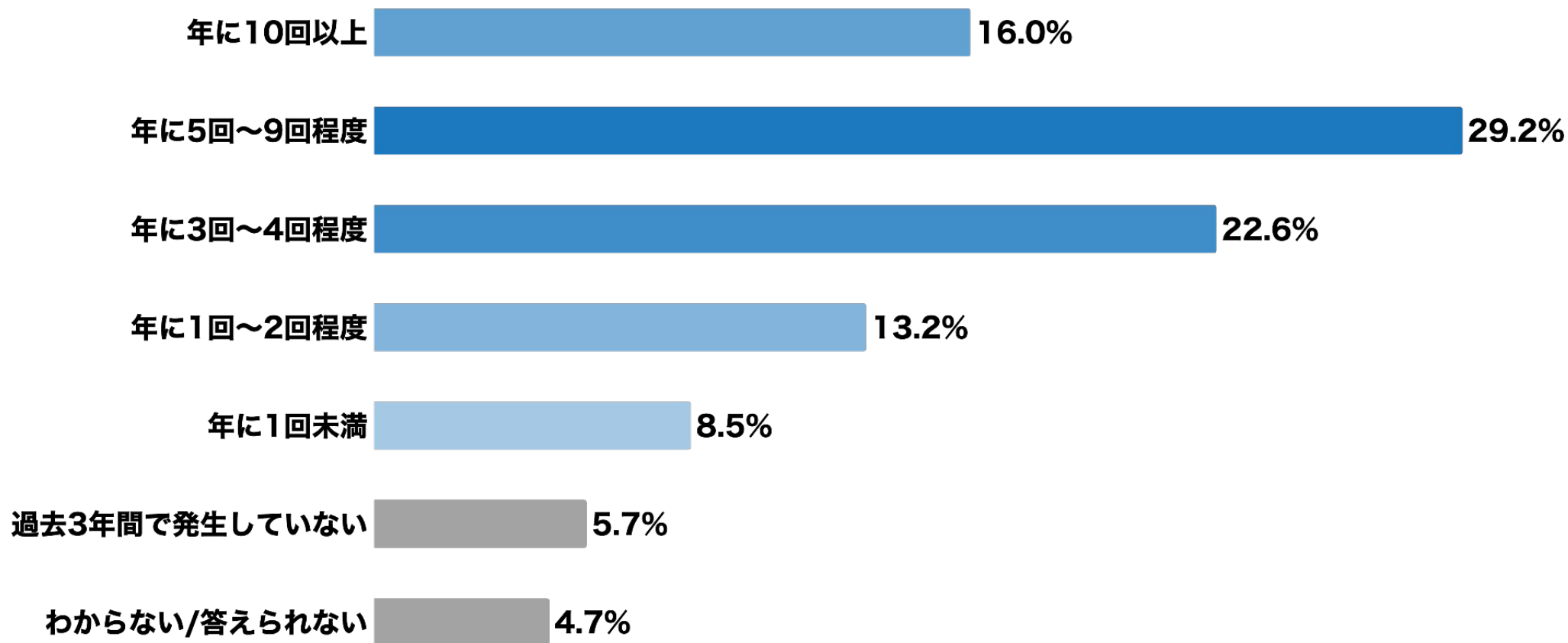
あなたは、近年の気候変動の影響で、ゲリラ豪雨や線状降水帯による集中豪雨の頻度が増え、下水処理場への負荷が大きくなっていると感じていますか。



自治体職員の約9割が、豪雨の頻発化による下水処理場への負荷増大を実感しています。

## Q2

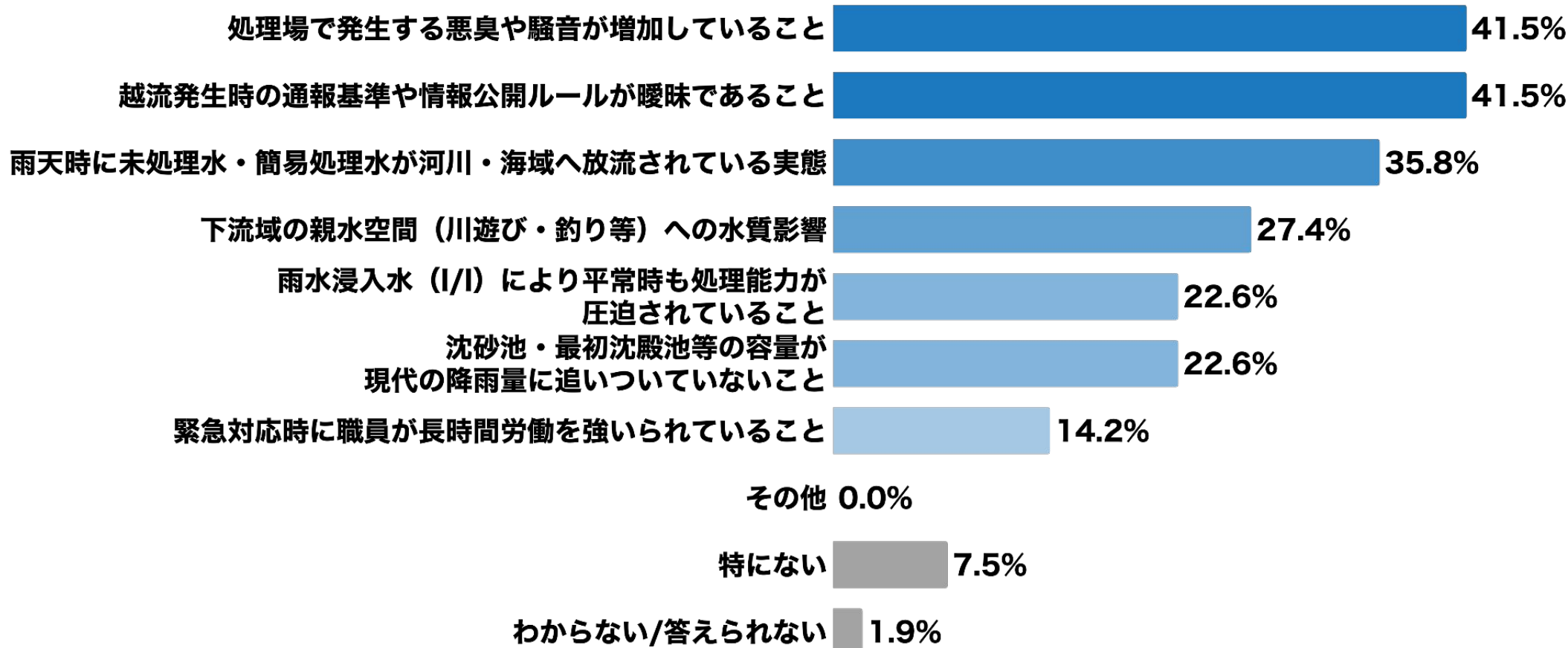
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場では、近年(過去3年程度)、ゲリラ豪雨や集中豪雨により設計時の想定流入量を超える事態が、年間で何回程度発生していますか。



近年の豪雨頻発を背景に、約半数の施設が「年5回以上」の設計想定を超える流入を経験しています。

### Q3

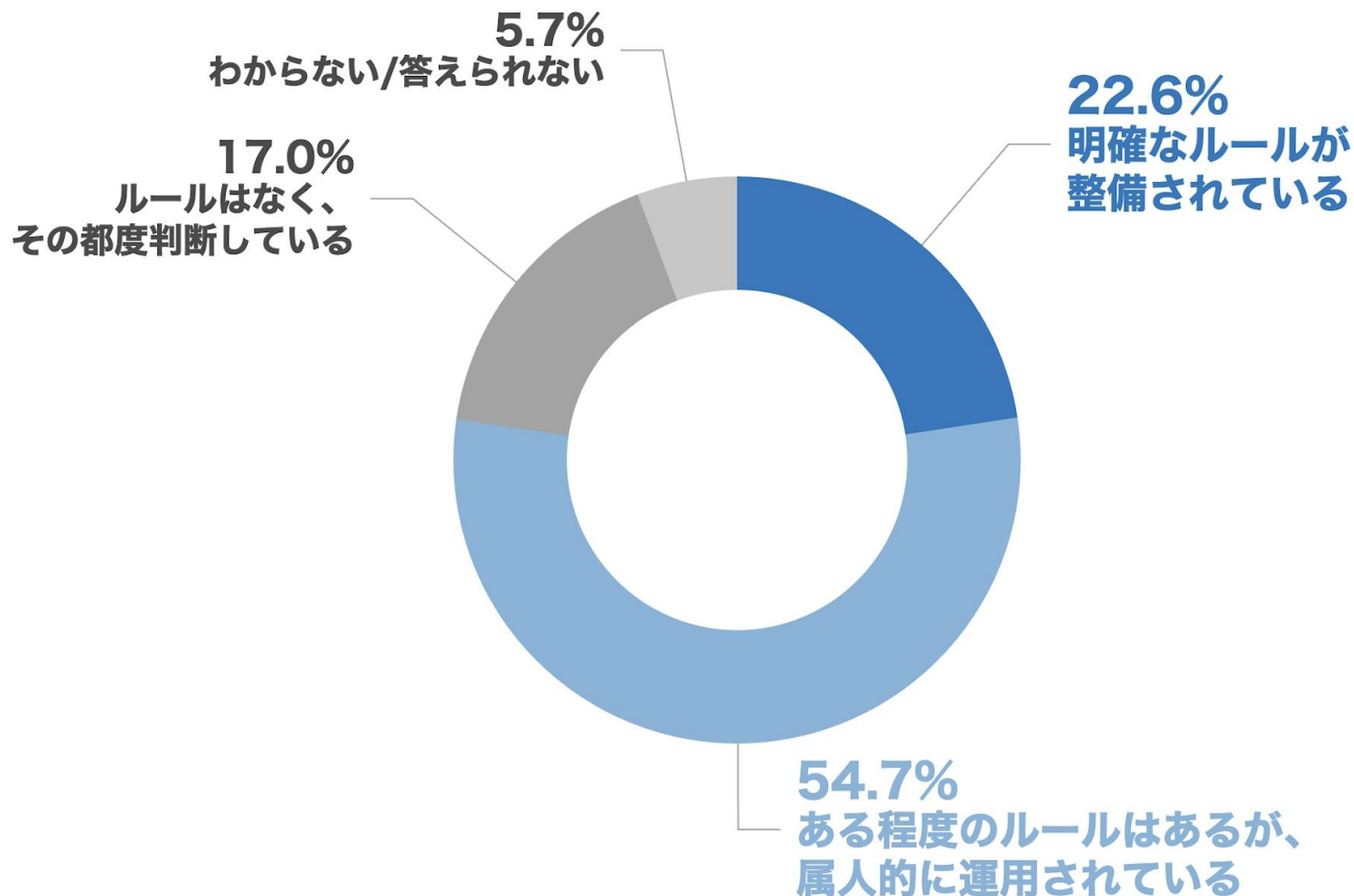
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場における雨天時対応において、市民や行政上層部に十分には共有されていない懸念事項があるとすれば、どのようなものですか。(複数回答)



「市民・上層部に共有されていない」と感じる懸念として、「悪臭・騒音の増加」と「越流時の通報ルールの曖昧さ」がともに 41.5%で最多となりました。

## Q4

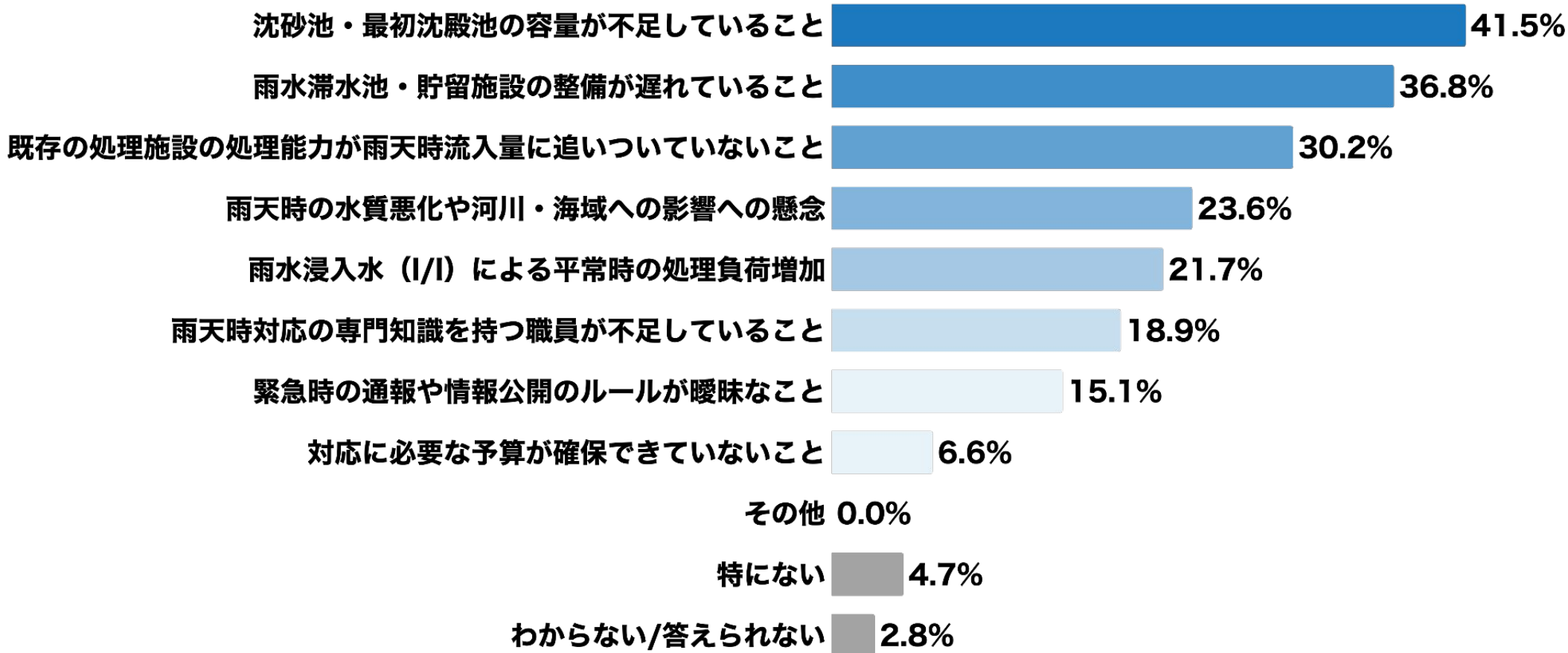
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場では、雨天時の処理に関する明確な運用ルール(処理優先順位・水質管理基準・緊急時の対応手順等)が整備されていますか。



雨天時の運用ルールについては、「属人的に運用している」が54.7%と半数以上を占めており、明確なルールが整備されているのは22.6%でした。

## Q5

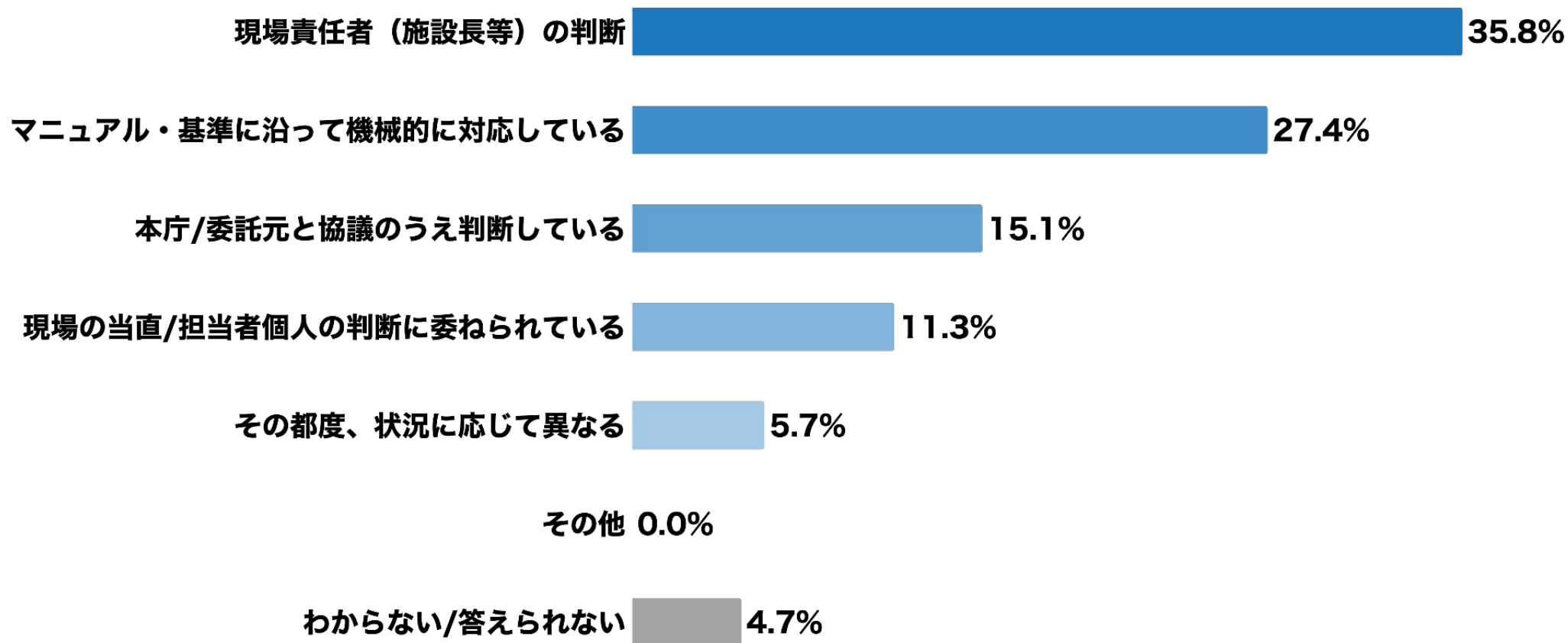
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場における、雨天時対応について、課題と感じている点を教えてください。  
(上位3つまで回答可)



雨天時対応の課題としては、「沈砂池・最初沈殿池の容量不足」が第1位、「雨水滞水池・貯留施設の整備遅れ」が第2位となっています。

## Q6

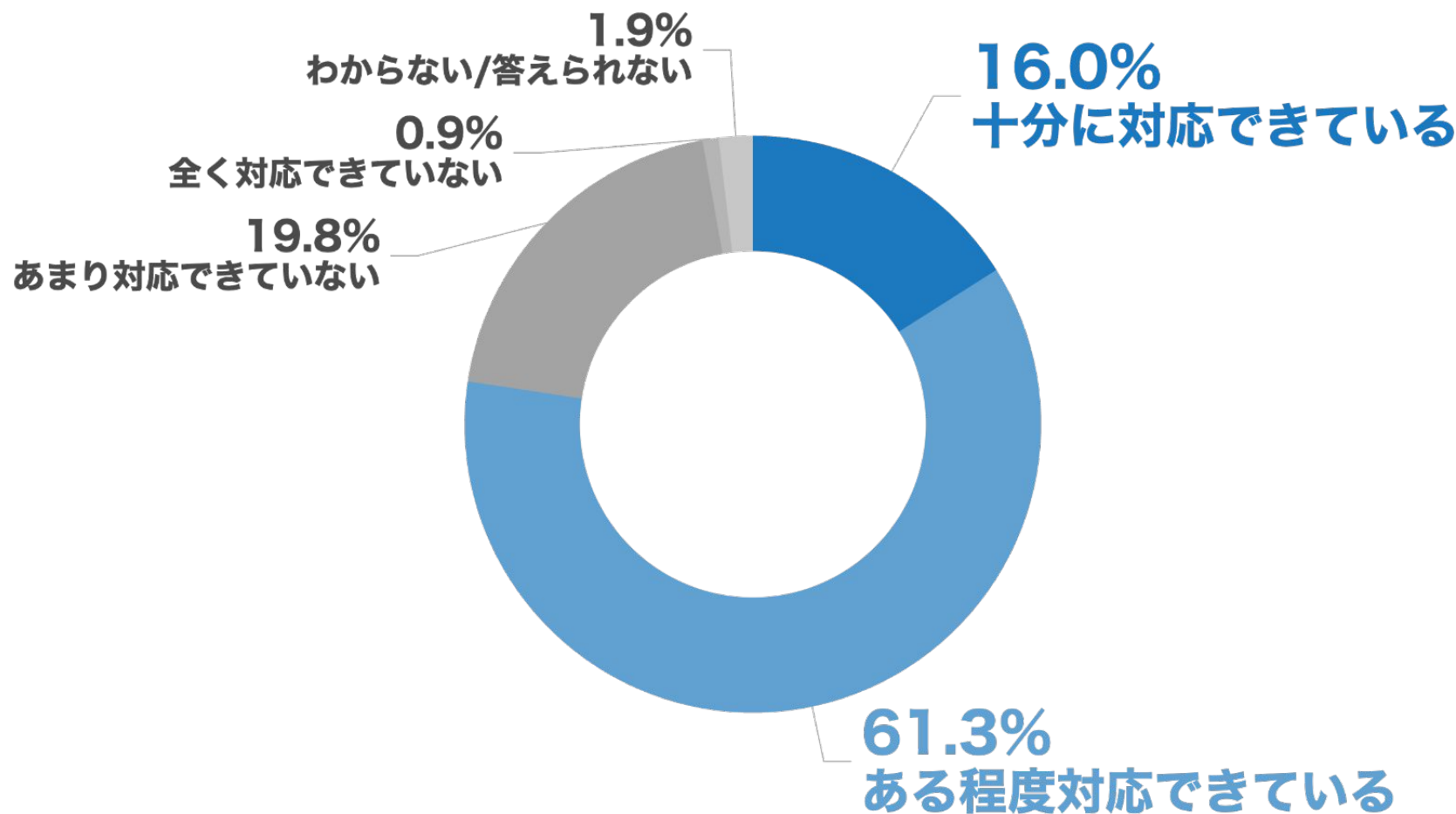
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場では、雨天時に想定を超える流入や水質悪化が発生した際、放流の可否や処理方法の切り替えといった最終的な判断は、主に誰が行っていますか。



雨天時の放流・処理切替の最終判断は、約4割が「現場責任者」に依存しています。

## Q7

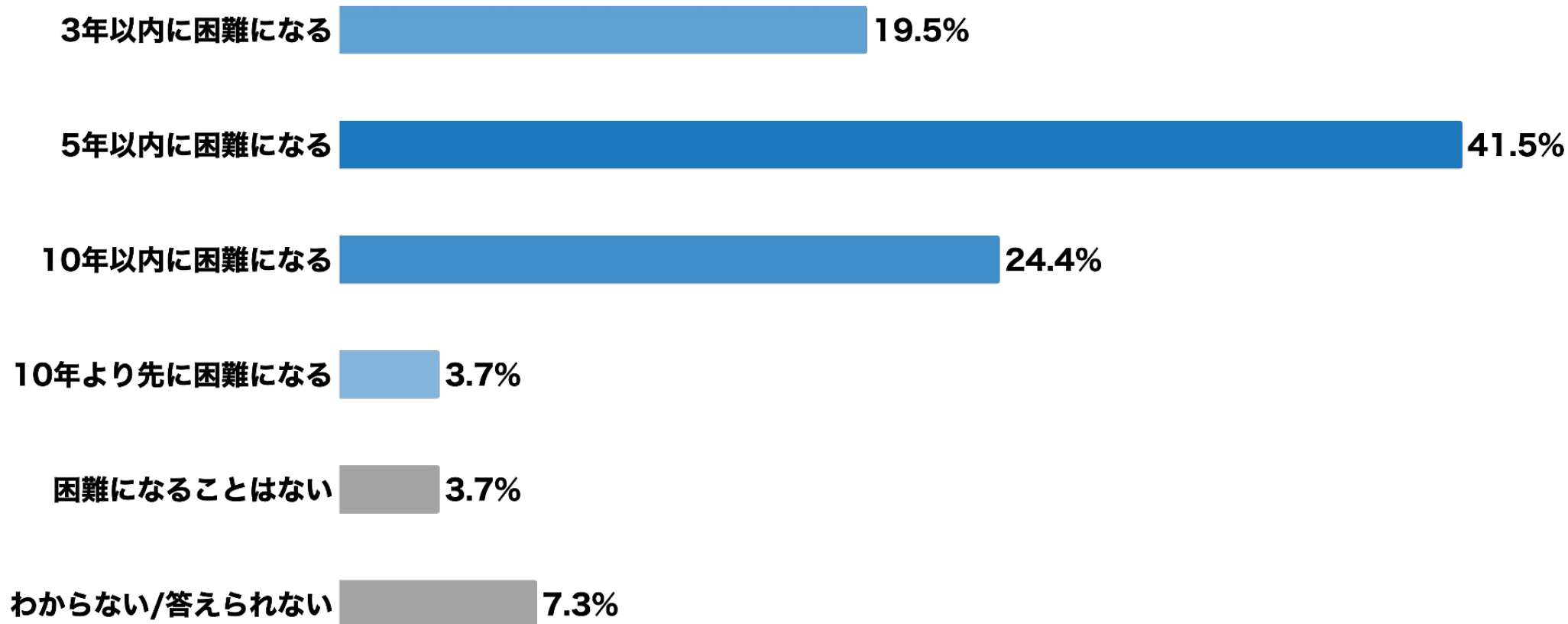
あなたが運営または運転管理に携わっている下水処理場では、現状の運営体制(既存施設・職員・予算)で、雨天時対応が十分にできていますか。



雨天時の対応について、77.3%が現状の体制で「対応できている」と回答した一方で、20.7%は「対応できていない」と認識しています。

## Q8

Q7で「十分に対応できている」「ある程度対応できている」とお答えの方にお聞きします。あなたは、気候変動による豪雨頻発化を踏まえ、現在の運営体制(既存施設・職員・予算)では下水処理場の雨天時対応が、今後どの程度の時期に困難になると思いますか。

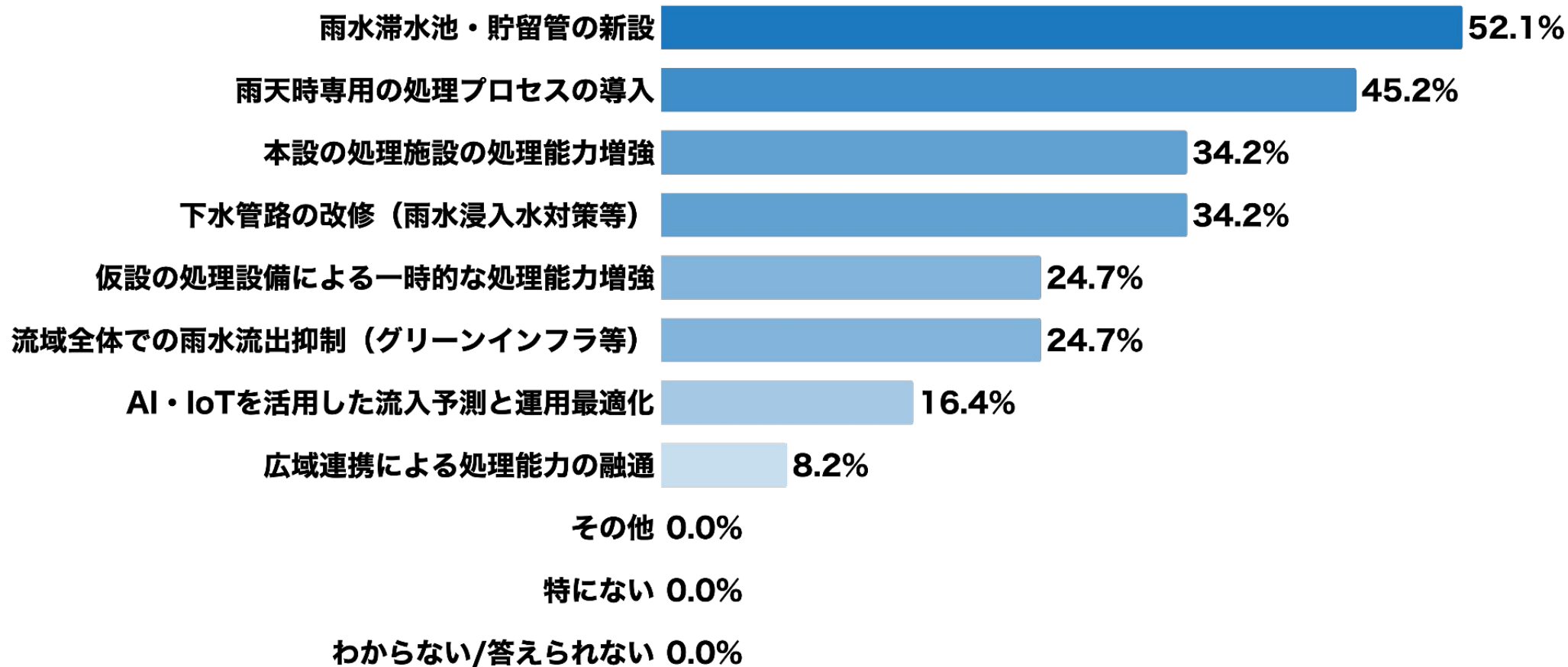


現状では対応できている層でも、6割以上が「5年以内に対応が困難になる」と予測しています。

## Q9

\*Q8で「3年以内に困難になる」「5年以内に困難になる」「10年以内に困難になる」「10年より先に困難になる」と回答した方への質問

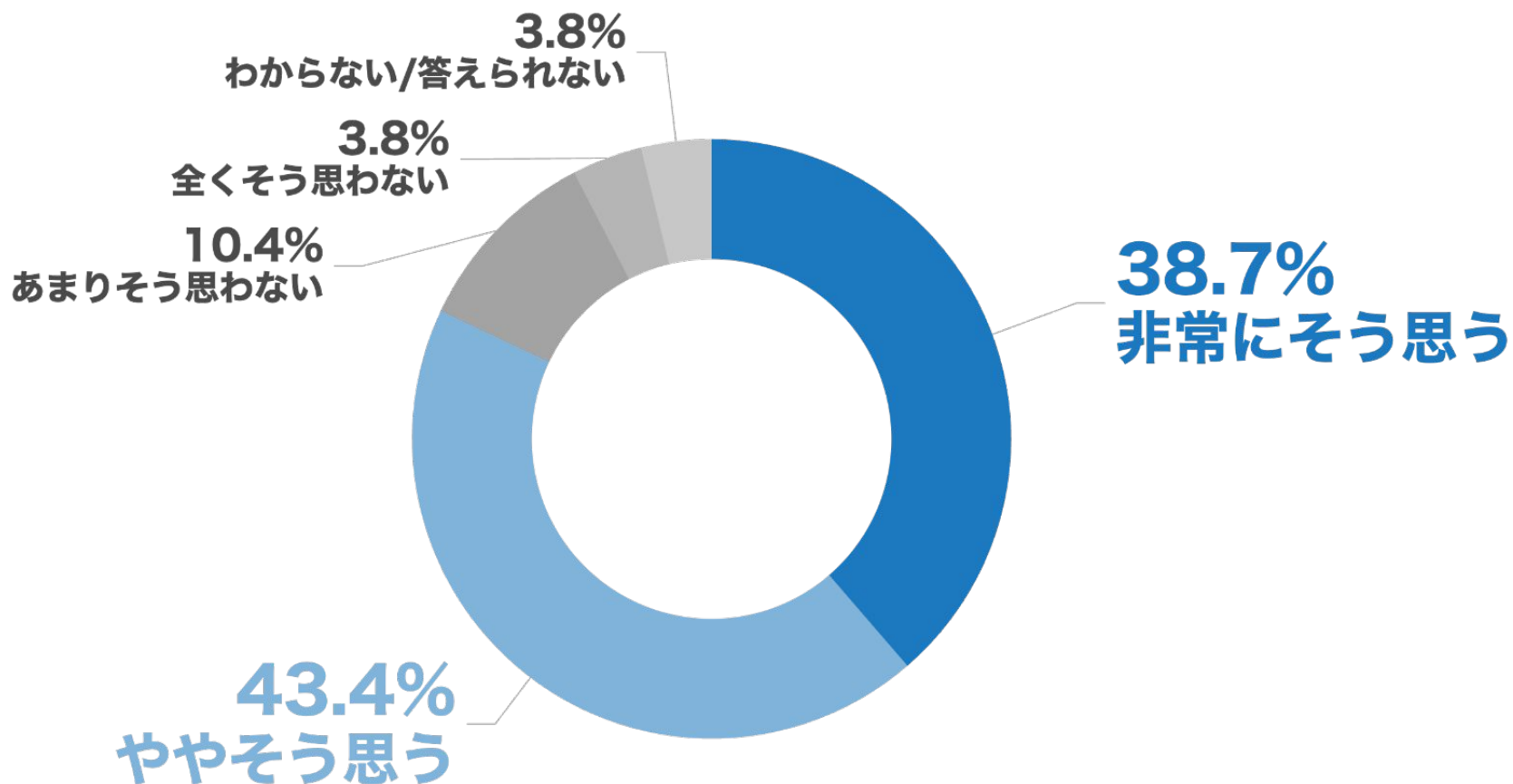
**今後の雨天時対応として、有効だと思う対策を教えてください。  
(複数回答)**



有効と考える今後の雨天時対策としては、「雨水滞水池・貯留管の新設」(52.1%)や「雨天時専用の処理プロセス導入」(45.2%)が上位を占めています。

## Q10

あなたは、雨天時の処理能力増強や緊急対応において、機材と専門知識を持つ仮設水処理の専門事業者の支援を活用したいと思いますか。



8割以上の方が、仮設水処理の専門事業者の活用を希望しています。

# 雨天時の想定超過流入や処理能力不足もセイスイ工業なら 仮設水処理で対応可能



震災や台風による水害で浸水した汚泥

仮設の水処理プラントで  
**災害復旧**  
インフラ復旧を実現!

解決策はココにあります

プランニングから機器設置試運転までワンストップ対応

累計処理実績 **2,650**件  
最短対応実績 **1**週間

※1 全国で実施した仮設水処理の実績累計 ※2 お問合せから仮設水処理プラント設置して処理までの期間

全国2,650件の豊富な実績。レンタル用水処理機器を利用した仮設水処理プラントで、雨天時の流入増加の課題を解決。セイスイ工業では、下水処理場や各種工場、土木現場、災害復旧現場などで培った2,650件の豊富な実績をもとに、現場ごとの流入量、水質、処理期間、設置条件に応じた仮設水処理プラントを提案します。本設でも使用されている水処理機器を組み合わせ、雨天時の流入増加、処理能力不足、設備停止時の代替処理、復旧作業中の一時的な水処理など、さまざまなご要望に対応します。雨天時の下水処理場運用や、想定を超える流入への対応で、こんなお困りごとはありませんか？

- ・豪雨時の想定超過流入に対応したい
- ・雨天時に既設設備の処理能力が不足する
- ・流入増加や設備トラブル時に外部事業者を活用したい

セイスイ工業なら、下水処理場における雨天時の流入増加や処理能力不足に対し、現場条件に応じて処理します。

# Contact

---

## お問い合わせ

### 企業名

セイスイ工業株式会社

### MAIL

seisui-kk@ideatechbaynich.jp

### WEB

<https://seisui-kk.com/>

### 会社住所

〒265-0045

千葉県千葉市若葉区上泉町424-18

ちばリサーチパーク内